



力を合わせてよりよい奉仕

ライオンズクラブ国際協会

333-C

地区ニュース

1985-86

No. 2

奉仕で結ぼう心のきずな



新造なった香取神宮の山車 写真提供：佐原ライオンズクラブ



ガバナー・メッセージ

333—C地区 ガバナー

L 橋 口 一 夫

グッドスタンディングとは —その1—

(1) グッドスタンディングの勧め。

私は今年の方針の中に、グッドスタンディングを提唱しています。新会員の教育の際に、クラブの説明、クラブのあり方、運営の目標、優秀なクラブ作り、などの説明を通じ、また日常事ある毎にライオンズムのアピールなど、グッドスタンディングたれと念じつつ今日に至りました。グッドスタンディングは人の和をもたらし、優れた奉仕活動も行なってくれます。

(2) 会員の資格とグッドスタンディングについて。

ライオンズクラブ会則(標準)第3条A項(会員)に『善良な性格の持主で、地域社会において声望のある成年男子』が会員になる資格——と規定してあります。またB項(正会員)には各種権利と「例会出席、すみやかな会費納入、クラブ奉仕に参加、およびクラブが地域社会により印象を与えるような行動を含む」義務が定められています。この資格と義務こそがグッドスタンディングの根源であります。

(3) 標準会則とグッドスタンディングについて。

ア) 国際協会々則にグッドスタンディングを必要とする者——。

国際協会役員、第3副会長、地区ガバナー候補者、大会代議員、国際理事候補者等——。

イ) クラブ標準会則とグッドスタンディング。

クラブの推薦にはグッドスタンディング会員の署名、クラブの会合はグッドスタンディング会員の過半数の出席、クラブの役員と各種大会の代議員、投票権——。

(4) ライオンズの原点とグッドスタンディング。

前述(2)項に「善良な徳性云々」とありますが、「善良な徳性」を(ライオンズ道徳綱領)の中から拾ってみると(他人に誠実であり、自己にも忠実。真の友情は損得の上に築かれるものでなく、心と心のふれあい。

国家および社会に進んで時間と労力と資力を捧げる。不幸な人に同情、弱い人に助力、貧しい人には私財を。)は人間性そのもので、ライオンズの原点であります。また会員資格としての「地域社会において声望のある成年男子」とは、ライオンズ市民愛国憲章の中に、(国家への忠誠、国旗を敬い、公共の問題に知性ある関心を示し、民主政治の原則を高く掲げ、正義を最大の指針とし、平和、自由を最高の目的として自由な人々の政治に対する確信を新たにする者)と記述されています。

〔註〕ライオンズ市民愛国憲章はライオンズ必携1982~1983第21版まで掲載されていましたが、現在は掲載されていません。〕 以下次号



アイバンクに想いをよせて

前地区ガバナー・名誉顧問

Ｌ 秋 場 寛

しっとり汗ばむ初夏の日でした。

丁度五年前K病院眼科教室で、角膜移植した少女の繃帯を取る日に偶然出会いました。主治医が徐々に繃帯を取除いてゆきます。少女の顔はキレイで、少し青ざめていました。

「少し眼をあけて下さい」「……」「何か見えますか」「……」。突然「お母さん！お父さん！お母さん！お父さん！」。少女はお母さんに抱きついて離れません。眼から涙があふれています。主治医と看護婦になだめられヤット落付きを取り戻した少女は、「色が見える！色が見える！」と叫んで又々泣いていました。

父の声も、母の声もそしてバラの花の赤い事も耳では聞いていても、赤とはどんな色かも知らない少女、父の顔も母の顔も想像してただけの少女、この世の中に色があることを初めて見た少女、私はいつ迄もいつ迄も涙が出て仕方なかった。

聞くところによると或るライオンの角膜を提供して頂いたのだそうです。亡くなられたライオンも、この様に美しい少女の眼の中で生きて行ける事を思い、さぞかし一生の間に最後の最高の奉仕をした事に満足している事を思い、価値ある奉仕はアイバンク以外にはないと心の中に誓いつつ帰路についた思い出があります。

私がガバナーに就任と同時にアイバンク設立を思い立ち、一人で八月一杯各地区のアイバンクの情報を手と足で集め、長所短長を聞き、九月の初め私は内局に対し「go」のサインを出しました。最初はいろいろな御意見がございました。諸先輩の御意見、又メンバー各位の御意見も有難く拝聴いたしました。国税庁に参り寄付行為の件も伺いました。（設立許可の前の一般の寄付行為は違法）一部のライオンズからは町内会の寄付を集めるような低次元の発言もありました。

私としては先輩アイバンクの方々の貴重な御意見を伺

い正面から行政当局に当りました。

幸にして千葉大学安達教授、順天堂大学田中助教授、千葉県衛生部長杉山太幹氏等の方々の御支援をえて、第31回年次大会迄に県当局並びに厚生省の許可を得られる自信がついたものでした。

昨日のゴルバチョフソ連書記長の中曽根総理大臣への親書の中で「共通の言葉」という事が強調されております。

吾々ライオンズクラブには「ウイ・サーヴ」という共通の言葉があります。この共通の言葉の中にライオンズクラブではアイバンクというほんとうに価値ある一つの目的を持つ奉仕が是非共必要ではないかと思うのです。

ガバナー職を終り、これからは心おきなく新しき世代を想い、様変わりする日日を愛でる、みづからの命への旅であると思っています。

今後共よろしく御指導御鞭撻をお願い申し上げます。



ライオンズの誓い

名誉顧問会議長

Ｌ 藤田 定男

我々は事ある毎に、「ライオンズの誓い」を唱えておりますが、多くの人とは申しませんが、一部の人は、これをただ空念仏しているに過ぎないと思われる節がある。誓いというからには、これを成就せんと約束する事である。そしてそれに向かって努力する事である。しかるに仕方がないからと極文句としてただ声を出しているに過ぎない人達がまま見受けられる。「われわれは知性を高め・・・とあるが、知性のなさに思わず眉をしかめざるを得ない時がある。ライオンズのスローガンに「Liberty, Intelligence・・・」のIntelligenceも勿論必要かもしれないが、それよりもIntellectuality、即ち知性の方がもっとも大切である。ライオンズマンは知性が無ければならない。チャーターナイトや、周年行事の後の祝宴等において、主催者の挨拶や、乾杯の音頭も始まらないうちに、がつがつ食ったり飲んだりしているライオンズマンをたまたま見受けられるし、国際大会や東洋東南アジアフォーラム等で、会の途中で退屈したからといって、たいした用もないのにぞろぞろと退席する姿、例会などで友人が講話をしているのに隣の人とぺちゃくちゃ私語を交えている人、こんな光景を見かける事はありませんか。例会の空気をもりあげる為のユーモアに富んだ弥次は結構ですが、私語はいけません。こんな人に限って自分で発言している時に、他人に私語を交えられるといやな顔をするもんです。人の話に誠心誠意、耳を傾けるという事も、知性ではないでしょうか。大勢の乗り物の中で、ライオンズの人達が集って、傍若無人に大声を上げて話したり笑ったりしている。これも時には知性の欠けた行動と取られかねないのです。ライオンズクラブは紳士であり、知性の持主の集団であると世間の人には思っている。それを、なーんだ、ライオンズクラブってあんなもんかと思われるような言語行動は厳に慎まねばなりません。その為にも、「ライオンズの誓い」を唱

える時は、なだ棒読みにせずに、常に心の中で、「知性に欠ける事なかりしか」と、胸に刻み込んで唱えて戴きたい。如何に大言壮語しようとも、如何に沢山の金をかけてライオンズ事業を行おうとも、知性に欠ける事ならば、世間の人にはライオンズマン達を尊敬したり、共同歩調を取ってくれたりとは決してしないでしよう。



ライオンズ・スピリット について

元地区ガバナー・名誉顧問

L 榎 智 光

ライオンズの会員なら当然分っているが、いざ人に尋ねられた時に明解な答えが返って来ることが少ないものに「ライオンズスピリット（精神）」と云う言葉がある。何故だろうか、その言葉の意味する内容が余りにも多様性であることと、その輪郭は解っているがその内容が中々掴みにくいからだと思う。そこで私はその内容を分析してみ、下記の4項目によって支えられていると考えた。即ち

- ライオンズスピリット
- (1) good standing
 (例会出席の励行、
 メークアップの選
 択、会員としての
 義務の励行、会費
 の納入その他)
 - (2) leader ship の育成と
 発揮
 - (3) activity 社会奉仕の
 研究、開発
 - (4) member, club extensi
 on & ritention
 (会員増強と退会防止
 新クラブの結成)

以上の4項目は必須条件であるから、若しその1項目といえども欠けてはならぬと考えられる。しかしながら一方においては、人を説得するに当って、何かもっと分り易い「言葉」はないものだろうか 私には「思いやりの心」と云う言葉がそれを代弁してくれるように考えられてきた。しかしながら「あの人たちは気の毒だ、可哀想だと人を哀れむ心、すなわち「思いやりの心」だけではそれを代弁し尽しているとは云えない。その心に行動が伴った時に初めてライオンズスピリットが成立し、且つ輝やいてくるのではなからうか。

例えば、例会において、幹事又は担当委員長から3ケ年も降雨がなくて、ひどい旱魃と飢餓と貧困に見舞われたアフリカの住民が苦しんでいる実情を訴えられ、それは気の毒だ、何とかしよう、と、例会の決議の下にアクティビティの件が裁決され、その方途については、委員会一任!! とクラブアクティビティの行動が起された時

に初めて「ライオンズスピリット」が生れ、且つ輝やいて参ったものと考えられる。

また、見る角度をかえて云えば、クラブ例会に、「君が代」と共に必ず歌われる「ライオンズヒム（讃歌）」や「ライオンズの歌」（共に必携のP. 229、230に掲載）の歌詩をご覧になればライオンズ精神とは如何なるものかが、手近かにお解りになることと思います。

因に、ライオンズヒム（讃歌）は、

Lion Joseph M. Tewinkel 作詩 Lion Francis M. Baxter 作曲 葛野作太郎 訳詩

ライオンズクラブの歌 は

藤浦 洸・作詩 古関 裕而・作曲

作詩（訳詩）、作曲者を明記して深く敬意を表する次第である。

また、なお深く研讃されるライオンズには、ライオン誌日本語版編の「ライオンズスピリット」—奉仕への出発— 同委員会編集長杉浦 明（千葉県・君津LC・元ガバナー）の良書がある。未だ入手されていない方は是非購読されることをお勧めする。ライオンズ必携と共に座右の書となることでしょう。その序に、ライオンズクラブ国際協会第65代会長故L村上薫の、国際会長メッセージの一節に「リーダーシップの力の育成と、常々研讃を積むことが大切である。……」という名文が紹介されていることを記して筆を擱く。



所 感

元地区ガバナー 名誉顧問

Ｌ 齊 藤 貞 雄

早いもので今年度は船橋CABの10年目に当る。期しくも、今年度橋口ガバナーは当時のDDGの一員で、CAB構成員として大変協力していただいたものである。いずれガバナーとして活躍する方と思っていたので、わがことのように嬉しく、今年度のCABの活動を大いに期待している。

今年の銚子はNHK連続ドラマ「濡つくし」の大ヒットや夏の高校野球は県内代表校になるやら、それにLCのガバナーは出るやら、何か不思議とついているようで、大いに株が上がっている。きっと素晴らしい功績を上げるCABになることだろう。

しかし10年前は石油ショックの後であったが、高度成長期のなごりが残っている時代で、LCもあちらにこちらに多数のEXTがなされて活気が満ちていた。三県にまたがっていたので単県地区よりも大変だった面もあったけれど、何といても楽しく陽気に運営出来たことは現在よりもよかったなと思う。それだけに現CABのこの頭打ちのLC環境のなかにあつての運営はさだめしご苦勞のあることと推察して、出来る限りの側面からの協力をいたしたいと思っていた。

ところが自分の職業上の役職を受けてしまったために何やかやと忙しくなってしまうと、どうにも思うように協力が出来なくてまことに心苦しく、紙上をかりておわび申しあげる。そこは優れた能力素質をもったCAB構成員が取り囲んでおられることであり、別に私ごときがそんなに心配することはないかもしれない。

しかし聞くところによると、県内LCのなかには運営上厳しい状況下にあるところが出て来ているとのことであり、楽観は許されないという。これはCABがどうのこうのという前に、やはりそのLCのある地域の隣接LC同志が温かく、そして強力に援助して立ち直させるべきではないだろうか。

かつて銚子の地球の丸く見える丘の上にある日本フィリッピン友好の碑に立って、LCがフィリッピンから日本にやって来た由来を聞かされた。そして目を海の彼方にやれば、LC発祥のアメリカがあることを感じた。当時アメリカは日本人にとって憧れであり、目標であった。ところが今、日米間には戦後かつてない貿易摩擦とかで太平洋の風波は高い。かつてはアメリカがクシャミをすれば日本はカゼを引くといわれたものだが、日本もずいぶん強くなったものである。日本は戦後アメリカにはいろいろ助けて貰ったことも忘れてはなるまい。

今、日本人にとって問われているものは国際性である。島国根性を捨てて広く世界の人と協調する精神が求められているのである。LCにしてもしかりであり、LCは単位クラブが基本であり重要であることは勿論であるが、LCはあくまでライオンズ国際協会の一員にある。

卒直な感想であるが、どうも最近のLCは着想やACTがあまりにも孤立的閉鎖的に見えて仕方がない。もっと規模雄大、国際的ACTが出来ないものだろうか、それにはやはりまず心の中の小さな垣根を取り払って、大きく世界的視野で物事を見ることである。

それが結局はLCの再生隆盛への一つの方法である。各位の健闘を祈る。



脚下照顧

——地区分割の原点をみつめて——

元地区ガバナー 名誉顧問

L 杉 浦 明

私たちの333-C地区が誕生してから、早や5人目の地区ガバナーをお迎えしたわけであります。この4年有余の時間は、新しい組織や機構を定着させ、その運営を軌道に乗せる実に大切な時間でありました。今や私たちの地区はまったく新しい地区運営によって、ライオンズの高揚に轟進いたしております。

地区分割は地区にとりましても、各クラブにとりましても、まことに重大な事柄でありまして、これを断行するまでには実に2年有余の検討期間と1年有半の準備期間とがありました。そもそもの事の起りは、手塚信栄ガバナーの時にわが千葉県から地区分割が提案され、検討委員会が設けられ、更に私のガバナー時代に引継がれた。坂本重雄元ガバナーを委員長に、千葉・茨城・栃木の3県から15人の委員が任命され真剣な検討が進められたのであります。地区分割によるメリットは、(1)規模が適正化されることにより、ガバナーのクラブ公式訪問は、各クラブ毎に行われ、ガバナーとクラブとがより密着することによって血のかよった地区運営ができる。

(2)准地区年次大会が地方の小都市でも無理なく行え、公平な地区ガバナーの選出が可能になる。

(3)簡素にして豊かな地区運営ができ、経費の節減と構成員の「手弁当精神」の復活により、更に簡素化が進み豊かな運営が実現される。以上の総合効果によって、地区ガバナーの選出は、真に地区ガバナーにふさわしい人材を所属クラブのライオン密度に関係なく選出する道が開ける。とするものであります。

そして、そのための具体的な対応としては、①ガバナーの公式訪問は、各クラブ単位に行う。②事務局は千葉市に常設する。③副幹事・副会計は各1名とする。④各種委員長は兼務を含め3名程度とする。⑤公式訪問や各種行事のガバナー随行は1名とする。⑥地区指導費の廃止、経費の節減、会議費の節減などを積極的に行う。⑦地

区費は現行据置。などなどありました。

そしてこの精神は、新地区準備委員会に引つがれ、更に検討が加えられ、要約されて1つには「地区ライオンズ憲章」となり、2つには「地区ガバナー候補者推薦手続規則」となって具現されたのであります。

以上が、地区分割後の新地区運営の根本理念であり、バイブルであります。

現実はどうでありましょうか。

たしかに地区運営はスムーズに行われるようになりました。ガバナーは身近かな、親しみの持てる存在になりました。

しかしまた一方では、或る種の慣れのようなものも生じて来て、多くの反省すべき点も出て来ているようであります。

勿論、以上に述べられたことは、かなり理想的な事柄ではありますが、忘れてしまってよい事柄ではありません。この機会に更に原点にたちかえって、みんなで地区分割の理想達成を検討してみる必要があるのではないのでしょうか。

今にして真剣に対応しなければ、再び組織は肥大化し、経費は膨脹し、やがては地区費値上げにつながり、地区分割の理想は雲散霧消してしまうのではないのでしょうか。

更に、ライオンズクラブおよび地区の運営は、自由・平等、あくまでも民主的になされねばなりません。

いささか苦言を呈した形となり恐縮ですが、地区を愛しライオンズを愛するが故に卒直に所信を申述べさせていただきます。



情報とクラブ会報

PR情報委員長

青野 虎二

最近の情報の伝達は目覚しさを超えて空恐しい現象を呈している。よく見、よく聞き、よく確め、近代機器による推計に対するが、地球上いや宇宙に氾濫する無限の情報は、普通の能力では真偽の判定も整理も覚束ない。余程強靱な精神の持主でないとノイローゼになるであろう。

さてこの過剰な情報を切り売りする商売が成り立っている世の中である。聴覚も視覚も触覚もザラザラに磨り減って行く。切れ味のよい刃物程刃こぼれがする。鋭敏な疲れを知らない脳力と体力が勝敗を決する事となる。

この様な社会現象の中で、世界140万の会員に国際会長の意志が確実に伝達されているとすれば、真に素晴らしいものである。我々の身边にはライオン誌と必携だけ、でも各クラブでは熱心に会報が発行され、ニュースも情報も盛り込んではあるが、現状が精一杯ではなからうか。世の企業が発行する社内報とは似て非なるもの、即ち営業ではない。我々は親睦を基調とし、志を一にした集団である。会員に何の差別なく、総てを割切ってお互がクラブを育て、親睦を深め、社会奉仕の実を挙げるための一助となる会報である。ではこの会報に盛り込む最低の条件とは何か？それは就任前のキャビネットが行う三役研修会の資料に特に「会報発行者」と云うパンフがある。これによると採点を千点とするのではあるが、然し私の知る限り、千点の会報に近いものはあるが満点はない。猫の手も借りたい家業の傍、片手間に作られる会報である。出来栄えよりもその努力を賞讃したい。

本年の橋口ガバナーは千葉県アイバンク協会の健全育成と、複合地区話題、日本全メンバーによるLCIF基金百万ドル達成に意義を見出す事になる。

我々は橋口ガバナーが意図するところを実現することに努め、クラブ会報はそのお手伝いをし且つ楽しくこれに参加し、理屈抜きで奉仕に喜びを感じ、各人が持てる

力を発揮することが望ましい。そうした会報記事が欲しい。地区ニュースも読んで欲しい。ライオン誌も読んで欲しい。それが編集者の努力に対するお礼であると思う。

ルールを守り、豊かな常識を以て他の非を論うことをやめ、大らかな明るい心を表現した会報が欲しい。



会則・会員・E X T委員会



C地区会員現況について

ライオン誌によれば、現在世界のライオンズクラブの悩みの一つに、退会者が非常に多いと聞いております。

333C地区の国際本部への報告によれば以下の通りです。

1985年7月1日現在のクラブ別会員総数一覧表

3576名 78クラブ（クラブ別の報告あり）

前年度中に会員が減少したクラブ一覧表

37クラブ（クラブ別の報告あり）

会員数が20名以下のクラブ一覧表

3クラブ（クラブ別の報告あり）

クラブ別会員総数一覧表に間違いがございましたら、そのクラブの名簿を添えてご一報下さい。早速当方の記録を訂正致します。

会員増強課々長アントニオ L.ディアズの会員増強、退会防止(ゼロ・ドロップ・アウト)をガバナー方針とし

委員長 L 小林 力 蔵

て本年度の目標として掲げている次第です。

会員の増減は好況、不況など、地域の状況に大きく決定づけられますが、ライオンズクラブの発展は退会者の防止、新会員の増強、に尽きるものと思われれます。

特にメンバー間の友情とチームワークに重点をおき、ジョセフ・L・ロブレスキー国際会長のモットー「力を合わせてよりよい奉仕」、国際協会の提唱する「10月会員増強月間」「1月～2月～3月会員増強プログラム」、「創設者会員増強計画」。奉仕活動が成功するか否かは、会員数によって決まると言われている。会員増強の重要性を十分心得て積極的な会員増強を行い「力を合わせてよりよい奉仕」の実践に協力することを望みます。

国際協調・YE・LCIF委員会



YE活動の発展を願う

青少年交換即ち Youth-Exchange略してYEのプログラムは、ライオンズクラブが国際協会であるという実感を与えてくれるアクティビティである。相手が前途ある青少年であるだけに、派遣にせよ、受入れにせよ、あらゆるアクトの中で最も神経をすり減らすものであるがそれだけにやり甲斐がある。これに伴う労力並びに金銭アクトもさることながら、国際協調という使命のほか、YE生達の将来の成長や発展を思うと、無限の希望や光明を感じさせる。

私が所属している旭LCでは、数年来YEに取り組み本年は3名受入れ1名派遣を実施した。YE生の訪問、

委員長 L 江 畑 耕 作

婦朝報告などで例会に若さと活力が注入され、クラブのマンネリズムの打破に大いに役立ったと思っている。私自身、1名のYE生を受け入れた外、YE委員長として22名の派遣生および17名の受入れ生の出迎え、見送り、サマーキャンプ、例会訪問、更に、アメリカM. D. 19YE委員長の来訪の接待などで、YEに明け暮れた一夏であった。すっかり成田空港になじんで、国際協会の一員としての貴重な体験が出来たと感謝している。

航空機の発達によって地球がますます狭くなってゆく今日、外国との交流なしでは、ライオンズクラブの国際協会としての意義も発展も望めない。クラブの老化を防



ぐためにも、多くのクラブが勇気を出してYE活動に取り組んでもらいたいと思う。異国の若者とわが子が隔てなく一緒に暮らせるのは、ライオンズという共通の生活理念に支えられているからだ、つくづく感じさせられた。北海道や九州から成田までYE生を迎えに来てい

るライオンの姿を見るにつけ、333-C地区のYE活動は恵まれていると思った。日本の空の玄関である成田国際空港を擁する333-C地区のYE活動の発展を心から願うものである。



視力・聴力・保護委員会

視力聴力保護委員長に就任して

委員長 L 向後 清治郎

平和と健康は誰もが望むものです。文明の進歩、科学の発展は私達の生活の向上に役立ってきました。しかし時には環境破壊や健康障害に通ずることがあります。人類の平和と健康のために各位の友情と固い絆で惜しみない努力を期待します。当地区内における視力聴力保護に関するアクティビティの企画、その他の問題を検討することは、ライオンズクラブの役員任期の制度上、新規事業を企画するには、その可能性に困難な問題があると思います。限られた範囲で実績をあげて行くためには、長期にわたり企画継続され、実をあげて来たアクティビティの中で、特に注目支持されるものを積極的に押し進めることとなります。ライオンズクラブ国際協会ではアクトガイドとして「糖尿病検診」についていろいろ心配されております。「この病気が身体に及ぼす影響は非常に大きい。早期発見が何にもまして重要である。ライオンズクラブは糖尿病検診を実施することにより、地域社会に対して貴重な保健サービスをすることになる」との

国際協会よりの通達もあり、この事業を進めるためには地域住民の協力が大変必要でPR活動が特に重要になります。住民の関心を高揚するため、各クラブ委員会がそのアクティビティの重要性を認識し、地域の実情に合った医学情報PR活動を展開する。又専門医師にお願いして講演会等を開催し、住民ぐるみで聴講する。必要とあれば各地域の公共団体にも呼びかけ、協力して行くことも大切なことです。以上申しあげた如く、視力聴力保護事業は「PR活動」を中心に検討推進することが適当であると思います。最後になりますがアイバンク活動に積極的に協力して行くことも深く考慮して行きたいと思えます。各位のご協力をお願いします。



青少年対策(LEO・LS)委員会

レオ夏期研修会を終えて

委員長 L 石井 三郎

当地区レオクラブの夏期研修会が8月18日～20日二泊三日で開催されたが、プログラムの進行を、各クラ

ブの会長を中心にレオ自身で行った。

当り前の事と受け取られるかも知れないが、実は本年



が始めてである。現在地区内のレオの構成は、小学3年から中高年生までであり、その主力は小学生である。

子供達がグループを作り、その中の一人がリーダーとなって何かを行うと云う事が、今の子供社会ではほとんど見受けられない。

(先輩が後輩の面倒を見、後輩は先輩を慕い従がう。)

レオクラブの目的は、指導力を養い、経験を重ね、機会を得る、と云うものである。この三つはどれも重要であるが、中でもリーダーシップを養うのは大変である。

レオクラブの運営にはいろいろな困難がある。レオ自身の問題点もあるが、スポンサーしたライオンズクラブにも大いに問題がある。その一番大きな点は、レオを指導するライオンが豊富にいない事である。又その熱意があっても技術が伴わないのである。レオクラブを育てるには、まず指導者となるライオンを見つけなければならない。

今年のレオ夏期研修会はいろいろなプログラムが展開されたが、その一つ一つが必ずしも上手に出来なかった

ものもあったが、レオ自身のリーダーシップで賄えたのは大きな成果だったと思う。

この研修会では、橋口ガバナーはじめ内局の方々、矢田デュビティガバナー他3リジョンの役員の方達、特に佐倉ライオンズクラブの多数の方にお世話になった事をレオ一人一人が感じて帰ったものと思う。又昨年に引継いで千葉京葉ライオネスの皆様にも同様である。

レオのモットーはライオンズ同様ウィ・サーブである。

奉仕すると云う事は、人を思いやる心でもある。レオの諸君には、人を思いやる心と、人に感謝、ものに感謝する心を常々話している。

ローマは一日にして成らずの言葉の通り、明日の世代を背負う若いレオを育成するのは大事業であり、難しい事である。だからこそやりがいがある。

“青少年健全育成”口にするには響きの良い言葉だが、金や物で達せられるものではない。

ライオン諸氏、共に手を取り、永遠のテーマに挑戦しようではないか。



指導力開発委員会

地区指導力開発とは

委員長 L 北 総 榮 男

一人一人の会員がそれぞれリーダーシップを持って会員の質を向上させ、クラブの活性化をはかり、併せて退会防止Stop the dropに役立たせる事を目的として、1975年に国際協会の組織の中に設立されたリーダーシップ委員会は、既に10年を経過しておりますが、日本においては1981年の複合地区大会で、指導力開発委員会と名称が変更になりました。然しこの事に就いて、クラブによっては必ずしも徹底していない様に聞いております。「俺について来い」式ではなく、みんなの力を引き出すのが指導者の条件であると思われまます。然らばどのような具体的活動を行ったらよいか、困惑しているのが現状ではないかと思われまます。本年度333C地区橋口ガバナーは方針を次の様に定めています。

- ① 楽しい例会クラブの充実
- ② 会員増強退会防止
- ③ 会員はすべてグッドスタンディングに
- ④ 青少年の健全育成

ガバナーは奉仕の意味を考え直し、奉仕のあり方を見直し、クラブのあり方を問い直そうとするもので、その出発点は心の和、人の和、クラブの和であると云われております。そこで本年度地区指導力開発委員会といたしましては、ガバナーの目的に沿う「楽しい例会」「クラブの充実退会防止」に特に重点をおき、具体的な構想を練りつつある現状であります。退会者の多い事が世界の悩みで、特に入会三年未満の退会がトップで、日本では毎年一割近いと云う事です。

メンバーの意識の高揚、優秀で熱心であり、チームワー



クに気を配り、例会を楽しくしなければクラブの活力は生れない。人事の活性化をし、マンネリ化を防ぎ、それで自由と知性を基盤として運営されるならば退会防止に役立つものと思われま

どうかこの一年、333C地区の全会員の方々が、意識を高揚し指導力を発揮し、更に更にライオンズ発展の為、御活躍されん事を御祈りいたします。

333-C地区 献眼献腎推進委員会



献眼登録の近況

委員長 L 鶴野孝二

献眼登録（愛の光を）は、目下着々登録申込みが、千葉県アイバンク協会へ到着しております。

の申込みが事務局にありました。

事務局長の吉野正三Lが東京へ出向き、慶応大学眼科銀行、読売愛の光の事業団眼科銀行、順天堂アイバンクに登録されている千葉県民の氏名は、全部千葉県アイバンク協会に移籍して頂くことを約束して参りましたので、近く名簿が到着する事でしょう。その登録済の分は、千葉県アイバンク協会事務局で、本人宛に登録カードを交付致しますので、各クラブでは新規の者に対しては、グリーンの申込書をお願い致します。

献眼申込み先

東京都港区虎ノ門1-15-16 船橋振興ビル五階
社団法人腎臓移植普及会行。

（333-C地区献眼献腎推進委員長L鶴野孝二に申込み用紙があります。）

新規の献眼登録に付いては、各クラブの積極的な御協力を得て、早い時期に各病院に登録台帳のコピーを送りたいと思っております。県内各市町村20の保健所等には献眼登録のポスターを送りましたが、半年間貼ってくださるそうです。また千葉県アイバンク協会理事長秋場寛Lは、60.9.12.の千葉日報に献眼登録（愛の光を）の見だしで、不足する移植角膜を県民に呼び掛けております。

333複合地区献眼推進委員会

日時 1985年 10月9日（火）10日（水）

場所 千葉県勝浦市ホテル三日月

議題 1. 330～337複合地区献眼推進委員会

日本眼科銀行主催による第四回シンポジウム（3月開催）について

2. 330～337複合地区献眼委員会の日本眼科銀行主催による第四回シンポジウム開催ホストについて

3. 333複合地区献眼登録、献眼推進について

4. その他

333C地区出席者

千葉県アイバンク協会理事長 秋場 寛L

千葉県アイバンク協会事務局長 吉野正三L

前献眼献腎推進委員長 木村博美L

献眼献腎推進委員長 鶴野孝二L

○千葉県アイバンク協会発足後、すでに県内で20人の眼が見える様になったと報告しております。

○船橋東LC前会長及川雅賀Lの父君、及川貫一殿（76）が旭中央病院で7月11日に逝去され、早速角膜を提供して下さりまして、その角膜の移植手術が成功したとの報告がありました。

○佐原市の中年女性から匿名で貯金の全ての30万円を、アイバンク資金として千葉県アイバンク協会事務局へ送金されました。

○市川東LC元DDG竹内十記男Lから献眼献腎の登録



長期計画リサーチ委員会



ライオン帽のこと

委員長 L 北村 泰彦

記録をたしかめないで申しないが、1971年静岡での第17回E複合地区大会（当時東日本E1～E8地区）で「ライオン帽談議は以後打ち切りとする」、ことになり着用是非は単位クラブの自主性に任すことになった。

生まじめで律議な会長、地方の素朴なクラブから腑に落ちぬ風情で「ガバナーの見解は？キャビネットの指示は？」と問い合せてこられる。私はこういう処に、日本ライオンズがある時期急成長した素因のひとつと、同時に真のライオンズデモクラシーのひ弱さの影を見る感かしてならない。現象をとりあげた牽強附会のそしりを覚悟で言うならば、号令一下の体制は、管理する側には真に好都合乍ら、批判を封じ、知性を逼塞させた戦中日本の悪夢に通じる。“先ず形より入れ”と訓える諸道の作法と、“仏作って魂入れず”とたしなめる俗諺の間をゆれ動くのは、心のゆとりが無いためであろう。

心にゆとりを持たせるものは、集団では知性とユーモアと云われている。

コチコチに解釈しないということだと答えると、直ぐデータラメに捨ておくことかと反問する輩には到底判らない処であろう。

故式場俊夫文Lが、ライオン帽を、その会合の申し合せで要るとされた折、不要と楯つく友人に「頭をうまく隠せて好都合だよ」と拘わりのないひと言のあと、「あれも吾々がライオンズデモクラシーの洗礼をうける際の小道具として有効だったある懐しさがあってね」と言われた。

あまりスティックに考えなさるな！と言うことであろう。但し、基本を知っていることで、テールツイスターが例会で「私はファイン、ドネーションのとりたて役で…」と云うのも、会則に“それは目的でない”とあることを承知で逆説的に云う限りにおいてユーモラスでよい。

戴冠式、戴帽式という儀式がある。礼装をする通過儀礼の意義は改めて問うまでもないが、日常的に被るものではない。クラブの入会式に手渡されることの意味も、感銘を呼び起す動機づけにあらう。そういう印象を自分の心に持てば、ACTの清掃奉仕にライオン帽である必須の理由はない。そういえば昔野戦でも艦上でもいざのときは戦闘帽で正装帽である必要はなかった。ライオンズのACTは、譬はよくないが戦場なのだから。

薬害教育・福祉・環境保全委員会



薬害教育に思う

委員長 L 石毛 文行

覚醒剤・麻薬の撲滅運動は非常に重要なことであります。それ以前に成人前には「たばこ」は吸わない、すませない。酒は飲まない、飲ませない。青少年健全育成のスローガンにしたい。これによって、法を守る、守

らせる。この事から始めたらと思う。次で覚醒剤・麻薬の撲滅について県薬務課、保健所、警察等と連絡をとり、街頭キャンペーン、中学、高校等と連絡を密にして運動を行なったらと思います。本年度の国際協会の重点目標



である糖尿病教育についてのプログラムが送られてきましたので、この抜粋をのべますと 糖尿病と視力保護：先進国においては盲目の主な原因となっている。世界で約2億人が糖尿病にかかっている。毎年6%の割合で糖尿病患者が増加し、その80%は予防可能な筈とのことです。

11月を「糖尿病教育の月」としております。次のことを糖尿病教育の資料として参考にして下さい。

1. 糖尿病は失明の主な原因です。糖尿病患者が盲目になる率は正常者の25倍。
2. 糖尿病患者が腎臓障害を起す率は17倍、四肢の壊疽を起す率は5倍、心臓病や脳卒中を起す率は2倍。
3. 糖尿病患者の平均寿命は約1/3短縮。
4. 糖尿病患者の50%は、自分がこの病気であることを知らないが、患者数は年6%の割合で増加している。

5. 糖尿病患者にはインシュリン依存型と、インシュリン無用型の2つの型があるが障害の危険性は同じである。
6. 糖尿病にかかる率は体重の理想量を20%超過する毎に2倍になる。
7. 女性は男性より糖尿病にかかり易く、中年から老年期に入ると糖尿病にかかる率が上昇する。
8. インシュリンは糖尿病の治療薬ではない。その治療はない。

—それではクラブは何をすべきか—。

11月のクラブ例会で糖尿病教育をプログラムとして、医師会や糖尿病協会の専門家の協力を得て、糖尿病予防の一翼を担って下さい。

まだいろいろとお願いしたいことがあります。紙面がつきましたので次の機会に致します。

地区運営特別委員会



D. D. G. 会議に列席して

委員長 L 池澤 稔

複合地区会則第20条はキャビネット構成員の任務を個々について適確に規定している。デュピティ・ガバナーに関しては前地区ガバナー、キャビネット幹事、同会計の次の第4項に「デピュティ・ガバナーは地区ガバナーを補佐し、地区ガバナーの指揮のもとに責任者としてリジョンの運営に当る」と記されている。従ってリジョンの責任者であるデュピティ・ガバナーと地区の最高責任者である地区ガバナーがお互いに緊密な連繫を保つのは理の当然であり、意思の疎通を図るためにD. D. G. 会議をできるだけ頻繁に行う必要がある。或る地区では年5回のD. D. G. 会議の開催を年度当初から決めていくところさえある。

そんな意味合いもあって当地区では去る9月10日(火)午後3時から千葉パレスホテルにおいて本年度第1回のD. D. G. 会議が開催された。

当日第1リジョンの鈴木Lが病気のため欠席された以外、第2から第7リジョンの中村L、矢田L、石毛L、茂

田L、小田喜L、土屋L、と橋口ガバナー豊福幹事、それに北村長期計画リサーチ委員長と私が列席して計10名が参加した。

議題に定められた事柄については別に述べられるとして非常に有意義であり、隔意のない意見が交換された。

前に述べた様にD. D. G. とはそのリジョンの責任者である重要な職務であるから、よくその重責を自覚しリジョン内に起ったことを知悉し、又は起りうるであろうことを予測し、更には将来への展望を持たねばならないと思う。

一年間漠然とその席を汚すことのないように、又過った指導のない様に留意せねばならない。

誤解を避けるために今年度は人材に恵まれ、極めて責任感の旺盛な適任者ばかりであることをあえて付け加えておく。



副委員長より

ライオニズムを考える



会則・会員・E X T副委員長
L 小笠原和雄

日本ライオンズクラブ三十三年の歴史の一頁に333-C地区会則会員E X T副委員長に指命され、且つ奉仕に参画する榮譽に感謝するとともに、その責任の重大さを痛感いたします。

私は“ライオニズムとは”を考えると、戦に破れ荒廃した焼土から見事復興に導いたすばらしい日本人の英知と勤勉により、今や世界の経済大国に成長した日本。しかし失ったものはそれ以上に大きいのではないのでしょうか。科学の進歩によって日常生活はより便利になり、従って時間が生み出され、男女平等の時代が女性も社会参加ができるようになりました。反面、親子の関係が薄くなり、人と人との思いやりや地域を愛する心に欠け、利己主義となり、頼るは金銭、不動産にと心を傾注してはいないでしょうか。このような日本の現状のなかで私は、ライオンズクラブの一人であることに誇りを感じ、ライオンズクラブこそ私の求めていた組織であると痛感しております。私はライオニズムの原点は、愛の哲学であり、愛する心の所有者のみが参加する場所それがライオンズクラブだと思います。クラブ例会は同志の集いであり、会員は互に仲よしになり、仲よしから思いやりのある友人関係が生まれ、意見のぶつかり合いがあって共感をもち、信頼関係が生まれ、知性ある同志の集合によって理性のある奉仕と運営が円滑に行なわれると思います。“無欲の勝利”私情を捨て、独善的な行為を排除し、地区のメンバー全員が満足する奉仕活動を行い、地域社会に奉仕させて頂くのだ、という精神を養うことこそ愛の心であり、真のライオニズムと考えます。会員は我欲を捨て、永遠に道を求めて精進しようではありませんか。

一年を振り返って



国際協調Y E .
L C I F副委員長
L 深山穰次

秋場ガバナーの依頼を受け浅学非才も顧みず委員長をお引受けしてから一年が過ぎました。お陰様で大過なく職責を全うする事が出来ました。これもひとえにガバナー、各クラブの皆様、並びに各リジョンのY E 委員の御協力のたまものと深く感謝致しておる次第です。振り返ってみますとY E サマーキャンプにはじまり、12月～1月の来日学生受入、1月～6月のY E 派遣生オリエンテーション、7月の派遣生見送り、来日学生の出迎え等々多忙な一年を過ごして参りました。この間種々の反省点及要望事項がございましたので、思い出すまま列記してみたいと思います。〔1〕昨年度の冬期来日学生は、9月初旬に333-複合地区より5名の通知がございました。詳細は不明で、ただオーストラリア及びニュージーランドから来日すると云うだけでした。早速受入家庭を募集致しましたところ、皆様の御協力により、11家庭の応募を頂きました。この点につきまして、今後は来日予定日、姓名、性別を、事前に複合地区より報告して頂く様要請致しました。〔2〕派遣生の募集及び夏期受入家庭の募集を8月下旬にD. D. G.、Z. C.、各クラブ会長、及び地区Y E 委員の御協力で行いました。派遣生は30名、受入は45家庭の予定で募集致しました。両方共申込用紙の記入もれが目立ちました。応募される方は正確な御記入をお願い致します。派遣希望者は29名でしたが、最終的には22名にとどまりました。これにはやむを得ない理由もありましたが、派遣生は夫々の家庭とよく話合って、途中脱落のない様、参加して頂きたいと思ひます。受入は42家庭の応募がございましたが、応募用紙への記入もれがあり、学生割当てに苦慮致しました。なお来日学生の国別、性別は受入家庭募集の時点では不明ですので、是非募集要項には正確な記入をお願い致します。又受入家庭にはその他詳細な書類がございますので期日までに御提出をお願い致します。



〔3〕派遣学生の派遣先の受入家庭が出発時まで不明で、不安と御心配をおかけ致しました事を、深くお詫び申し上げます。以上申述べた点につきまして、当地区の連絡窓口は、アメリカのネブラスカ州とミズーリ州となっており、他の国及び州は主に334と335複合地区になっておりまして、感じとしては当地区の派遣生の割当は、

他地区からの割当に頼らしくはならない実情です。今後の派遣に関しては考えねばならぬことです。以上YEに関しての所感を述べましたが、参考にして頂ければ幸いです。今後共YE・国際協調・LCIFプログラムに対し、絶大な御協力御支援をお願い致します。



病床日記



LEO委員

L 多田 武次

市川東LCチャーターメンバーとして入会以来、74才の現在まで無病息災に過ごしてきたが、ついに病を得て、現在国立療養所松戸病院に入院中。胆嚢機能不全と診断され、今は手術待ち。クラブ復帰の日を待ちわびています。

私がレオクラブと係わりを持ったのは昭和58年からでしたが、その当時の会員数は15名で、小・中学生が多かったが、昨年は高校生が11名と多くなり、クラブ運営・指導も、なかなか骨の折れる仕事になってきたものです。例会で甘藷作りの提案があり、幸い空いている手持ちの畑に芋苗を植えたのですが、これが大豊作。次で今年3月には馬鈴薯を植えました。先日、これも大収穫だったと聞かされ、大変嬉しく思いました。

一日も早くレオ委員の務めを果たせるよう、強いあせりを覚える毎日です。

レオクラブ活動に思う



LEO委員

L 平野 金治

日頃のレオ活動を考えると、現在急務の青少年健全育成に大きく貢献しているのを感じます。

第一に、心のふれ合いを大切にすること。「心合わざれば肝胆も楚越の如し」今にして含味すべき諺です。小中高校の枠を外し、仲間との出会いは共感をよび、誘発された連帯感は仲間意識をより強固なものにします。

第二は有為な経験の場です。近代化された生活は、子供達の自己存在感を喪失させました。役割り分担の遂行から生まれた成成感生活はきり開く勇気を醸成します。

また個性や能力開発に適した場でもあります。レオ活動時、素晴らしい個性や能力によるユニークな活動がみられます。個性や能力が立派に企画を成功させた時、自信は更に拡大されるでしょう。

恒例の夏春研修会は、レオにとって待望の場であり、こうしたレオならではの活動が、カーぱい展開されます。

幸い、L各位のご支援のもと「竿頭更に一步」をめざし微力を捧げたいと思います。

クラブ運営に国際性を



YE・特別委員

L 木村 宏

経済的国際緊張の高まる中で、日本を少しでも多くの国々に理解をさせる手段として、YEプログラムは甚だ効果的だと思う。私はB地区以来6年余りYE委員を務め、多数の交換学生を派遣し受け入れた結果を見る時、ライオンズクラブの活動として大きな収穫を得たと確信



する一人であります。現実にその後日本を再訪したり、留学する学生、また将来に備え、日本語を習得している等、少なくとも来日学生の半数は、何らかの形で日本に対する意識を有している。我国から派遣した学生も又同様であり、多少のトラブルがあるとしても、有意義な結果の方が遙かにそれを凌いでいると思う。ライオンズクラブは、とかく金銭的な大小を活動の主体に取り組み勝ちですが、今後更に国際的視野に立ち、人類の平和と福祉のため、そして相互理解を推進させるため、クラブ特性を生かし、各人の能力や知性を総合的に活用した運営を期待するものです。

YEプログラムはその一つの方法、手段であります。

会 計 監 査



地区会計監査委員

Ⓘ 杉 山 貞 夫

前年度は地区会計として、適切な予算とその執行に重大な責任を負わされながら、大過なくその職務を果たすことができましたことは、ひとえに内局の皆さん、そして地区役員の方々の絶大なる御支援の賜と、深く感謝申し上げます。

本年度は地区会計監査として御世話になります。昨年経験した何かを役立たせて、とは思いますが、任期一年のライオンズの役員では、未知の世界への挑戦であり、暗中模索の毎日でありました。思い出す事は、悔悟の念だけの今日この頃で御座います。新執行部の御苦勞を理解しながら、職務には厳正でありたいと思います。

分 相 応



地区会計監査委員

Ⓘ 竹 田 良 美

職業柄、何かの組織に参加すると、必らずと云ってよい程、会計或いは会計監査の任を仰せつかる。今回も会計監査委員に任命され、誠に光栄と申すべきところであるが、いつものことで、やゝ新鮮味に欠け、役務に対する感動が弱い。従来監査と云うと、とかく責任の割には地味で軽視され勝ちであった。しかし近来は会社等においても監査役の地位が大分重要視されつゝある。

この度の地区監査委員としての任は、多くのライオンズの代表と云うことをよく弁え、それなりのプライドとプロ意識のものに、333-C地区益々発展の為、今迄の経験を十分に生かし、責任を果し悔いのない年度としたい。

現代社会と武士道



IR PR情報委員

Ⓘ 今 井 喜 美 男

北欧やスカンジナビア諸国を旅行した人々から町や村や山が綺麗であることを聞かされる。人口密度との関係も少しはあろうけれども其処に住む人々が如何に心豊かな心情の持主であるかがうかがわれる。

一方私共の国はどうだろうか、過日ライオンズのメンバーが公園、駅前等の清掃作業を行ったが翌日の夕方には折角の奉仕活動も「元のもくあみ」であった。一体何がそうさせるのであろうか、又北欧諸国との違いは何であらうか。

元々我が国は昔から綺麗好きで道徳心の強い国民性を持った国であった。元中国の総統、蒋介石氏が、我が国の陸軍士官学校へ入校の折日本の輸送船での話、同僚の一人が甲板にツバをした処、船員の一人が即座に腰から手拭を取り出して拭き取ったと言う事を蔣氏は回顧録の中で、日清、日露大戦で大勝した遠因はこれであると激賞して止まなかった。「恥を知る」と言う言葉がある。元々中国の儒教から強い影響を受け、我が国の封建社会の中で武士が自らを律する為に作り上げた道徳、「武士道」律の中核をなすものである。武士だけに止らず、農民や商人迄が潔癖で、他人に迷惑をかけるのは最大の恥とされていた。



昭和20年8月15日を境にして、古いものは総べて捨て去り、代わりにアメリカナイズされた合理精神がなだれを打って入って来て、戦前、戦中の価値観、「正邪」が「損徳」にすり変えられたのであった。今、社会活動の中心になっている年齢は40才代の昭和2ケタ、つまり戦後の教育を受けた人々である。何事も自己中心の「損徳」の影響が身に付いているので、己をつねって他の痛さを知らぬ為に平気で物を捨てたり、約束を破ったりする者が多いのであろう。このままでは我が国は内側から亡びてしまうのではないだろうか？北歐の人々が物や心を大切にすることに思いを致しながら、今、私達は静かに古人達が築いた武士道精神を想起する必要があるはしないだろうかと思感する次第である。

福 祉 に 思 う



2 R PR情報委員

L 高橋重成

高令化する日本の福祉政策に翳りが見えてきた昨今です。今後ますます強くなるであろう福祉ニーズに応えるため、その力は例え小さくとも、我々ライオンズクラブが地域社会に密着し、福祉推進のボランティアとして活躍してゆけば、すばらしいアクトの精華をあげられるでしょう。この奉仕活動への認識を深め、自己研賛の場としてもこれを捉える努力を重ねることにより、市民の我々に対する認識も深まってくるものと思います。

如何にして地域社会の福祉ニーズに対応してゆくか、クラブ員全ての英知を結集して考えようではありませんか。ライオンズマンの誇りをもって。

L ・ C 友 人



3 R PR情報委員

L 富山幸一

千葉中央ライオンズクラブに入会して10年になります。その間、ライオンズライフを通じて人生の先輩と出逢い、同年代の方々には刺激され、金では購えない貴重な体检が私の財産として身につけているように思われます。学生時代の友人は永続きするが、社会に出てからの友人は、永続きしないとよく言われております。それは利害が絡むからであると思われます。LCは年代に制限がなく、異業種の方々の集まる利害の絡まない団体であります。

私はLCから、心を打明け死ぬまで付合える友人を、1人でも多くつくることを念願としております。

お互いを知ると言う意味では、趣味、嗜好からの付合が一番の近道かと思ひ、レクリエーション部会の、ゴルフ、カラオケ、パソコン、麻雀などに、積極的に参加しております。楽しい部会活動を通じ、楽しいクラブライフが過せたらと思う昨今であります。

ライオンズの誓いと我が理念



4 R PR情報委員

L 椎名英夫

—日本人孤児と我が身—

中国から日本人孤児が来日し、日本の親や親類を捜している姿は我が事のように思えてならない。

5歳半ば、満州から引き上げてくる折の母の姿、ソ連兵の引き上げ者病棟の搜索、蔓延する疫病の恐ろしさは、子供心にも嫌と言うほど焼き付けられている。

母が顔に炭をぬり、ソ連兵が来るたびに、我が腕をつねり、泣けと言ったあの怖さを、最近やっと夢に見ないようになった。母が中国人に仕事を貰い、僅かな生活費を稼いでいたある日、私の衣服の袖に縫いこんだ、当時の生活費である百円をいたずらし、なくしてしまっただ、あの時の母の顔は言葉で言い表すことは出来ない。

子供は死ぬか中国人に預けるかして来るのが不思議でなかったという事を後に母から聞き、日本人孤児が来日し、離別の状況など報道される度、母への感謝と、あの恐ろしさが思い出され涙している。二度とあってはなら



ないことだ。ライオンズの誓い『平和を守り社会奉仕に精進する』。ライオンズの我が理念はここにある。



5 R PR情報委員

L 広部辰雄

任務達成の覚束無い私如きがPR情報委員を仰せつかり、必死の覚悟で勤めるつもりです。クラブ員として、共に奉仕の道を歩くものとの自覚・団結をもってゆこうではありませんか。五十・六十は鼻たれ小僧の言葉もあります。何につけても勉強、挑戦です。

スタートして思うこと——。力を合わせ、愛を以て目まぐるしく変る世に対処し、相互の意志疎通を図り、入会者を募って新しい血の注入に勉め、クラブの発展を策さねば、と念願します。地域社会、国際社会に大きく羽博く日を夢見ます。



6 R PR情報委員

L 庄司 兼次郎

筆無精で非才な私が、PR情報委員を務めることになりました。PR本来の目的は、メンバー相手ではなく、一般向けのPRにあり、国際協会から単一クラブまでのライオンズクラブの活動を、一般社会に知らせることがクラブPRの最大の目的である。また情報とは、メンバーに対し、クラブの歴史や業績、地区の機能や人事、国際協会の組織や現況などを知らせるのが仕事であると言われている。こうして考えてみると、今更ながら責任の重さをひしひしと感じます。そしてクラブ活動を如何にしたら周知させようか、PRの方法を勉強しながら努力して行きたいと思えます。その為にも各クラブの活動状況を逸早くキャッチして、地区ニュースに反映できるよう、メンバー各位の御指導と御協力を仰ぎながら頑張りたいと思えます。

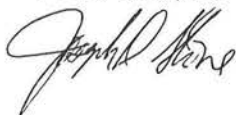
国際会則変更について

1985年7月

1985年国際大会で票決された国際会則及び付則改正案に関する投票紙見本を同封しました。

全改正案は代議員によって可決されました。国際会則改正案1及び付則改正案1,2の効力発行日をご参照下さい。国際会則改正案2は1985年国際大会終了と同時に有効となりました。

貴地区の次号会報にてこれらの改正を各クラブにご通知頂きたいと思えます。

ジョセフ D・ストーン
法律部々長 

1985年国際大会 米国テキサス州ダラス市 会則

改正 1. 国際理事を3名追加に選出し、メキシコを南アメリカ、中央アメリカおよびカリブ海諸島会則地域に含める。

その結果、1987年国際大会の選挙に始まり、選出される国際理事の数が現在の28名から1988年の選挙後には最高31名になる。更に1988年国際大会閉会時に効力を発するものとして、メキシコ会則地域が南アメリカ、中央

アメリカ及びカリブ海諸島会則地域に含められる事になる。1987年国際大会閉会後には、選出された国際理事の数が30名になり、1988年国際大会閉会後には31名となる。

1986年国際大会閉会時に効力を発するものとして、国際会則及び付則第5条1項(a)の第1節目を削除し、下記の文に替える事を決議する。

「1項(a)本協会の理事会は、会長、前会長、第1副会長、第2副会長、第3副会長および次の要領で選出される30名の理事から構成される。」
1986年国際大会閉会時に効力を発するも



のとして、国際会則第5条1項(a)の第3節目を削除し、下記の文に替える事を更に決議する。

「1987年の国際年次大会およびその後毎奇数年の大会で15名の理事（アフリカ、西南アジアから1名、カナダから1名、ヨーロッパから2名、東洋東南アジア、フィリピン諸島及びブルネイから2名、南アメリカ、中央アメリカおよびカリブ海諸島から1名、アメリカ合衆国およびその領域、バミューダおよびバハマから8名）が選出される。」

1987年国際大会閉会時に効力を発するものとして、国際会則第5条1項(a)の第1節目を削除し、下記の文に替える事を更に決議する。「1項(a)本協会の理事会は、会長、前会長、第1副会長、第2副会長、第3副会長および次の要領で選出される31名の理事から構成される。」

1987年国際大会閉会時に効力を発するものとして、国際会則第5条1項(a)の第2節目を削除し、下記の文に替える事を更に決議する。

「1988年の国際年次大会およびその後の毎偶数年の大会で16名の理事（アフリカ、西南アジアから1名、オーストラリア、ニュージーランド、パプア・ニューギニア、インドネシアおよび南太平洋諸島から1名、ヨーロッパから2名、東洋東南アジア、フィリピン諸島およびブルネイから2名、南アメリカ、中央アメリカ、メキシコおよびカリブ海諸島から2名、アメリカ合衆国およびその領域、バミューダおよびバハマから8名）が選出される。」

1988年国際大会閉会時に効力を発するものとして、国際会則第5条1項(a)の第3節目を削除し、下記の文に替える事を更に決議する。

「1989年の国際年次大会およびその後の毎奇数年の大会で15名の理事（アフリカ、西南アジアから1名、カナダから1名、ヨーロッパから2名、東洋東南アジア、フィリピン諸島及びブルネイから2名、南アメリカ、中央アメリカ、メキシコおよびカリブ海諸島から1名、アメリカ合衆国およびその領域、バミューダおよびバハマから8名）が選出される。」

改正 2. 地区選挙抗議の手順を明確にする。

その結果、地区ガバナー選挙の抗議は、国際協会の理事会方針書の規定に従って行われなければならない。

国際会第7条8項(a)(1)を改正し、同項第2節目7行目の「選挙結果は、」の後に下記の文を挿入する事を決議する。「理事会方針書に定めらる国際理事会の規定に従って……」

付 則

改正 1. 国際理事会の2常設委員会の名称を変える。

この改正により、エクステンション及びフィールド・オペレーション委員会の名称が、エクステンション、フィールド・オペレーション及び会員委員会に変わり、会員及びクラブ・サービス委員会の名称が地区及びクラブ・サービス委員会に変わる。

1986年国際大会閉会時に効力を発するものとして、付則第3条1項(g)および(h)を削除し、下記に替える事を決議する。

「(g)エクステンション、フィールド・オペレーション及び会員(h)地区及びクラブ・サービス」

改正 2. 国際理事会の委員会に任命される委員の数を減らす。

理事の数を増やす会則改正案が採用されれば、この改正により、1988年国際大会閉会時から任命委員の数が現在の10名から8名に減らされる。更に、その任命委員の内少なくとも2名は、国際会長の所属クラブが存在する会則地域以外の会則地域にあるクラブ会員でなければならない。

国際理事会の構成に関する会則改正が1985年国際大会の代議員によって採用される事を条件に、付則第3条5項にある人数を「10」名から「8」名に変え、更に同項の終りに下記の文を追加し、1988年国際大会閉会時に効力を発するものとする事を決議する。

「任命される委員の内少なくとも2名は、国際会長の所属クラブが存在する会則地域以外の会則地域にあるクラブ会員でなければならない。」



D. D. G. 会議の議決事項

9月10日



地区運営特別委員長 L 池澤 稔

D. D. G会議 9月10日

去る9月10日のDDG会議の議題と、当日協議された事項は次の通りである。然し夫々のDDGが直接処置される事項であるので、ここでは単に議決事項を羅列して報告するにとどめる。

1. アイバンクについて

千葉県アイバンクと333-C地区キャビネットは当分の間同居するのやむなき状態にあるけれども、全然別個の団体であるからには、その会計は当然別扱いとして混同を避けなければならない。

そのため新しくアイバンクの専属職員を雇備し、電話が新設された(0472-46-6166)。

然しその経常運営費については、アイバンクとして基礎薄弱で不如意勝ちであるから、総額にして年間300万円位は各クラブの協力に俟つものである。

既に慶応大学や読売愛と光の事業団のアイバンクに登録されたものについては移管されるので、一々登録えはしないこととする。

2. ライオンズ・ディの行事

10月8日のライオンズディを意義あらしめるために各クラブ独自のアクティビティを行う様に予めお願いしてあるが、清掃作業でも献血奉仕でも、それぞれ適宣のアクティビティを実施して欲しい。

尚このアクティビティはライオンズ奉仕ディを行う意味ではあるが、必ずしも10月8日に限定はしない。全員参加することこそが本旨であるので、その前

後の全員参加可能な適当な日を選んで行えばよい。

3. 公式訪問に関する件

地区ガバナーの行う公式訪問については既に始まっており、7リジョンと1リジョンは終了しているが、これからのクラブについてはよろしくキャビネットと打合せの上、然るべく準備していただきたいと、これは橋口ガバナーからのお願いである。

4. その他

(a) 11月14日～17日の4日間、シンガポールで行われる東洋・東南アジアフォーラムへの参加員は当地区へ60名割当が来ているので、各クラブの勧誘を一段と強力にお願いしたい。

(b) マンスリーレポートのアクティビティの記載が未だまちまちであるが、ライオンズクラブの良識に従って、他クラブと著しく均衡を失しない様、記載に留意して欲しい。

(c) 館山北クラブの再建については、館山クラブ、館山中央クラブから10名の会員が移籍して、木村博美Lが会長となって鋭意その再建に努力中であるが、大いに今後の活躍に期待したい。

然し全国でも珍しい不詳事を惹起した事実は、事実としてわれわれ全員がその責任を甘受せねばならないであろう。



ふれあい 会員の声

心安まるもの

銚子 L C L 安藤 英夫

ライオンズクラブに出合って、早や二十二年になる。この間、数多くの獅友とふれあい、様々な思い出を残し将来、また現在も、より深い高誼にあずかる多くの獅友がいる。1963年、当時DDGの藪田L、EXT、の式場L、スポンサークラブの斉藤L（後にガバナー）と船橋中央LCの各メンバーが精力的に何回となく末銚され、銚子LC結成のための説明会を開き、46名を以て翌年1月10日、大原ガバナー傘下のE-I地区に所属、結成式を挙げるに到った。同年9月27日、晴れて迫水久常ガバナーを迎え、華々しくCNを開催した。次年度、佐藤三蔵ガバナーが我がクラブを公式訪問、大そうお気に召され、その後も再三銚子にこられ、夜を徹して酒を汲みかわしたことも屢々であった。わがクラブの継続事業として盛大に開催される青少年健全育成剣道大会の優勝旗に、「優勝」の文字を揮毫され、その意志は今もなお脈々と生き続けている。しかしLCをこよなく愛し、素晴らしいふれあいをもたらして下さった彼等も今はない。

1979年、わがクラブの第十四代会長に推挙されたが、ときのキャビネットは海外交流促進を打ち出し、時宜をえたわがクラブも、姉妹提携に台北龍山獅子会を選び、理事会に計った。その後数回に及ぶ緊急理事会、全体会議等を開き、その都度起る疑問点を解決すべく訪台を操返し、膝付き合わせて龍山クラブと話し合った。一・二度は先様も心よく迎えて下さったが、三度・四度ともなると、さすがに不快感を面に表わし、「なぜここまでせねばならぬのか」と問い正される始末。私は「後顧の憂いの無いように」と説明、理解され、同年10月29日、何応欽將軍を立会人に、盛大な提携記念式典を台北の開催、台湾の名刹、龍山寺の境内に共同アクトとして、日本・千葉・銚子LCの名が時計塔に刻まれたのである。爾来、互に年一回、訪問が行われ、旧交を暖め、肩を抱き、涙しながら再会を約す獅友の姿が空港で見られる。

後年、龍山LCの獅友から「こうしてトラブルも無く、仲良く続くのは、当初あれだけ厳しい話し合いが持たれたからだ」と言われ、心の通じ合った喜びを感じたものである。

1970年、桐生中央LCとの姉妹提携の経緯については、紙面の都合で割愛するが、わがクラブも会員100名を超え、その原点を理解しないメンバーが大半を占めるに至った今日、これを語り伝える義務があると考えらる。

楽しいふれあいをもたらす、多くの獅友に囲まれ、日々のうつろいの中、心安らぐ友情を大切に生活の糧として、生きてゆく喜びを噛みしめる今日此頃です。

原稿募集 地区ニュース編集部

地区ニュースでは「ふれあい」「会員の声」欄を設けて200字から800字程度の原稿を御待ちしています。題名は何でも結構です。心に残るもの、明るく楽しいもの、仄々と心打つもの、悲しいもの、或は悩み等々。会員間の心の交流を図りたいと思います。また「会員の声」のタイトルですが、ライオンズクラブに籍を置いて生活してゆく上での要望、意見、批判、或は社会現象に対する考えなどを要求するものです。――。

その他のお願として、クラブアクト、活動状況など、100字から150字程の説明をつけた写真を、どしどし御送りください！！

素晴らしいクラブ会報を続々と御送付くださいます、まことにありがとうございます。頑張って、よりよい会報を発行してゆかれますよう希望します。

なお投稿に際しては、各リジョンのPR情報委員に連絡、照会をお願いします。

また編集上の都合によって掲載の先送り、不採用など大変失礼なこともあろうかと思いますが、お恕しの程、お願い申し上げます。

地区ニュースへの投稿、照会は下記に願います。

〒289-06

千葉県香取郡東庄町笹川い5549

地区ニュース編集委員 林 寛躬

TEL 0478-86-0043



アクティビティーズ



青少年健全育成クルージング大会

5R 1Z 木更津金鈴LC

8月4日、恒例の青少年健全育成クルージング大会が地区関係役員、市長、県議員を加え、君津秋元小学校、袖ヶ浦町横田子供会、君津レオクラブを招待して開催された。ギンギラの陽光の下、子供達と金魚すくい、かき氷、西瓜割等々で一日を過ごした。彼等が学校で学べない「何か」を学びとってくれたらー。と期待する。

(5R PR情報委員L広部辰雄)

第21回青少年健全育成剣道大会

4R 1Z 銚子LC

昭和60年8月4日 於 銚子市体育館

主催：銚子市剣友会・東総学校剣道連盟

後援：銚子ライオンズクラブ

参加チーム：85チーム

参加人員：約1000名

猛暑の中、館内の熱気は更にこれを上廻りましたが、この暑さも吹飛ばす、有意義な大会でした。



献血奉仕デー

4R 1Z 東庄LC

8月27日(火)

午前10:00~12:00、午後1:00~3:30

於 東庄公民館

労力ACT22.5時間、金銭ACT3万円

(ボールペン150本贈呈)

献血に来た人151名、採血者137名



アクティビティーズ



第12回秋季少年野球大会 4R 1Z 銚子LC

昭和60年8月23・24・25日。 於銚子市営球場

主催：銚子ライオンズクラブ・銚子市教育委員会 参加：市内13小学校（1校1チーム）

例年の如く熱戦につく熱戦。幸い天候にも恵まれ、好プレー続出に大いに湧いた。スタンドの応援団も声を嗺らした。子供達の間には俺達の「甲子園」と呼ばれている本大会もすっかり市民の中に根を下ろしたようである。

『児童生徒科学工夫作品論文展』開催

4R 2Z 旭 LC

結成20周年特別事業でもある『児童生徒科学工夫作品論文展』が盛大に開催され、近隣小中学校16校が参加し、出品点数429点（作品308点・論文121点）、入場者数1200人を超えました。『竹とんぼの作り方教室』では申込が殺到し係は汗だくでした。

クラブ員延べ63人・444時間、523,000円のACTで大盛況でした。

（4R PR情報委員L椎名英夫）





アクティビティーズ



秋の交通安全パレードと 街頭指導

4R 1Z 銚子 LC

9月21日秋の交通安全パレード
に12名参加し、交通安全運動街頭
指導に16名、計延べ28名56時間
のACT実施が成された。

(4R PR情報委員 L椎名英夫)

9月15日敬老の日

米寿祝記念品贈呈

4R 1Z 東庄LC

労力ACT45時間、金銭72,000円、役員で手分けして、米寿者12名宅訪問、米寿をお祝いして記念品を贈る。

於：東庄町笹川 大綱ひささん宅





事務局紹介

333-C地区のキャビネットが千葉市に固定されてから早いもので4年3ヶ月経った。事務局員も多少の出入りがあったけれども居心地が良いのか皆楽しく過して、夫々担当の事務に精通してきたので任せ切りにしても間違いはなく、おかげで私はスッカリ暇である。

事務局員の紹介を求められたが任でない。それでも是非にどの言葉で重いペンをとった次第である。

女の人の齢を数えることの非礼さは充分に心得てはいるが紹介の都合上多少これに触れることを許して欲しい。



里田 武子さん：真中のスーツの方

木更津キャビネットに勤めたことのある当地区キャビネット生え抜きのベテラン。一男二女の母親で ……そんなには見えないって……………そうでしょう。

本人もそれを気にして若返りをねがっている。子供の話をする時が一番熱が入る。達者でいてね。

木更津の住人となっている。

石塚 安子さん：左側のヴェストの方

一番若くて未婚である。稀少価値の純良さの持主。

「適当な伴侶が欲しい」と本人は決して言わないが、私は是非推薦したい。茂原で両親と独身の兄と一緒に住んでいる。皆に可愛いがられて今日に至る。

鈴木 正代さん：右側のポロシャツの方

今年新しくアイバンクに採用になった。現在はキャビネットと同居している。主婦兼業のパートタイマー
住居は千葉市神明町、歩いて通っている

(記 L 池澤 稔)





キャビネット からもおねがい

会員からのたよりをお待ちします。
ライオニズムのこと、家族のこと、趣味のこと
信条、何でも結構です。5～600字程度でPR
情報委員・編集委員へお願いします。

333-C地区の実勢（7月1日）

ライオンズクラブ数	78	会員数	3552
ライオネスクラブ数	7	会員数	152
レオクラブ数	5	会員数	111

お知らせ

：物故会員： 謹んでご冥福をお祈り申し上げます

銚子LC 故L 樋口大輔（昭和60年7月6日）

館山南LC 故L 渡辺 福太郎（昭和60年7月27日）

松戸ユーカーLC 故L 吉田 利美（昭和60年7月29日）

PR情報委員長：L青野虎二

PR情報委員：(L)今井喜美男,高橋重成,富山幸一

椎名英夫,廣部辰雄,庄司兼次郎

辻 利兵衛

地区ニュース編集委員：L 林 寛躬

L 須藤節也

昭和60年10月31日印刷

昭和60年10月31日発行

発行所 千葉市問屋町1番55号

シーオービル6F

ライオンズ国際協会 333-C地区

キャビネット事務局

印刷所 銚子市新生町1-49-1

㈱三友舎印刷所

TEL 0479-22-1810